



## 2. 指標設定

成果指標	指標名	米の生産調整の達成率		目標年度	指標の設定理由			
	数値	100			- 米穀の需給調整実施要領による米の数量配分によるもの			
活動指標	指標	a	座談会の開催		b	c		d
	数値	目標	1回		目標	目標		目標

## 3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
米の生産調整の達成率	%	100 %	100 %	100 %
		100 %	100 %	100 %

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 座談会の開催	回	1回	1回	1回
		100 %	100 %	100 %
b				
c				
d				

## 4. 課題と対応

課題
生産調整目標面積は達成しているが、担い手の高齢化等により不作付地が増大している。また、水稲作付面積も年々減少傾向にある。
対応（改善点等）
関係機関と連携し、不作付地の解消に向けて取り組む。

## 5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

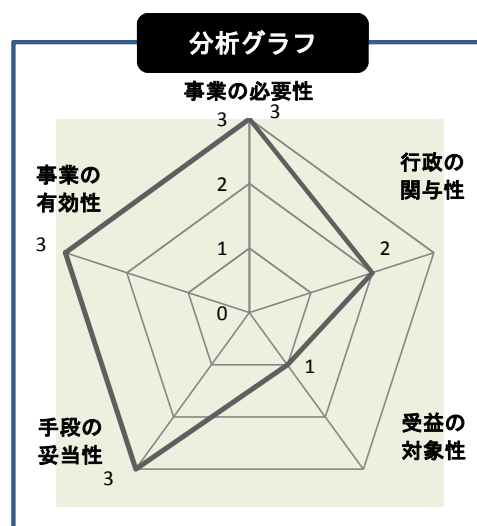
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
うち経常経費		2,989	2,503	17,119	16,901
財源内訳	国費				
	県費	2,939	2,467	16,943	16,701
	市債				
	その他				
	一般財源	50	36	176	200
うち経常					
事業費に係る人件費		4,267	4,380	4,300	4,294

## 6. H25年度予算の方向性

方向性
減額
理由
県から市への予算配分が減額されるため

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 米の価格安定を図る上で重要である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 米の数量調整については、行政、JA等が連携して調整するべきと考える。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 水田農業者のみ対象。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 米の価格安定を図るための制度であることを農業者に周知し、所得補償制度を活用できている。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 生産調整が達成されている。（達成率100%以上）



## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	関係機関との当該業務分担について検討を行い、事業の円滑な実施を図ること